

調査の概要

瀬戸市の結果

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象 小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒

3. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

(2) 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

4. 調査方式 悉皆調査

5. 調査日時 平成31年4月18日(木)

教科に関する調査 結果報告

小学校

瀬戸市内小学校の「成果 (◎)」と「課題 (▲)」

| 平均正答率 (%) | 全国 | 愛知県 | 瀬戸市 |
|-----------|------|-----|---|
| 国語(知識・活用) | 63.8 | 59 | ◎話し手の意図をとらえながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることができている。 ▲文や文章の中で、漢字を正しく使うことに課題がある。 |
| 算数(知識・活用) | 66.6 | 65 | ◎示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することができている。 ▲図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することに課題がある。 |

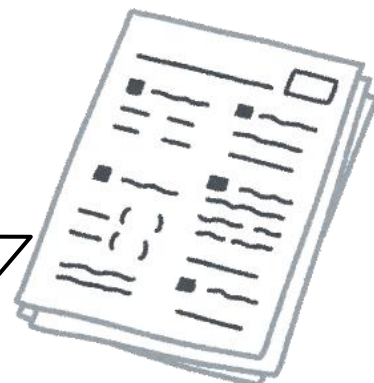
瀬戸市内中学校の「成果 (◎)」と「課題 (▲)」

| 平均正答率 (%) | 全国 | 愛知県 | 瀬戸市 |
|------------|------|-----|---|
| 国語 (知識・活用) | 72.8 | 73 | ◎文章の展開に即して情報を整理し、内容をとらえることができている。 ▲相手に伝わりやすく伝わる表現について理解することに課題がある。 |
| 数学 (知識・活用) | 59.8 | 62 | ◎事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 ◎与えられた証明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる。 ▲問題解決をするためにどのような代数値を用いるべきかを判断することに課題がある。 |
| 英語 (知識・活用) | 56.0 | 57 | ◎日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。 ▲日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることや文の中で適切に接続詞を用いることに課題がある。 |

各教科で課題として挙げた内容と、市内各校での分析結果をふまえ、今後も児童生徒の興味関心を高めながら、実生活で活用できる基礎的・基本的能力の確実な定着を目指していきます。

調査結果から

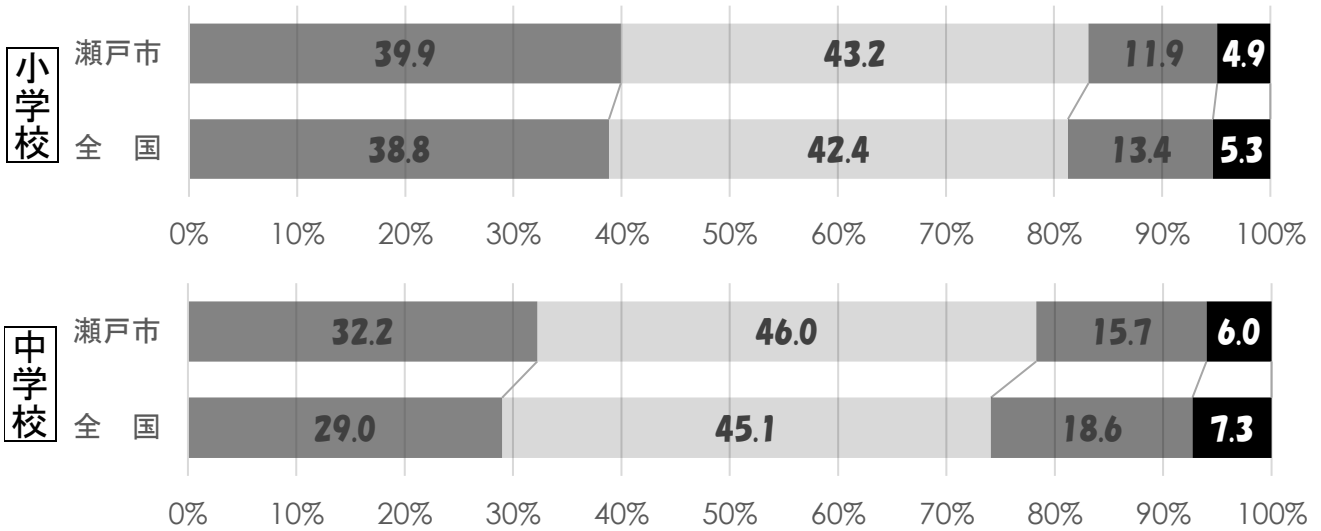
- 子供の結果を褒めるのではなく、子供の姿を褒めよう。
- 就寝時刻を決めよう。
- 学校以外で1時間は勉強しよう。



子供達の意識

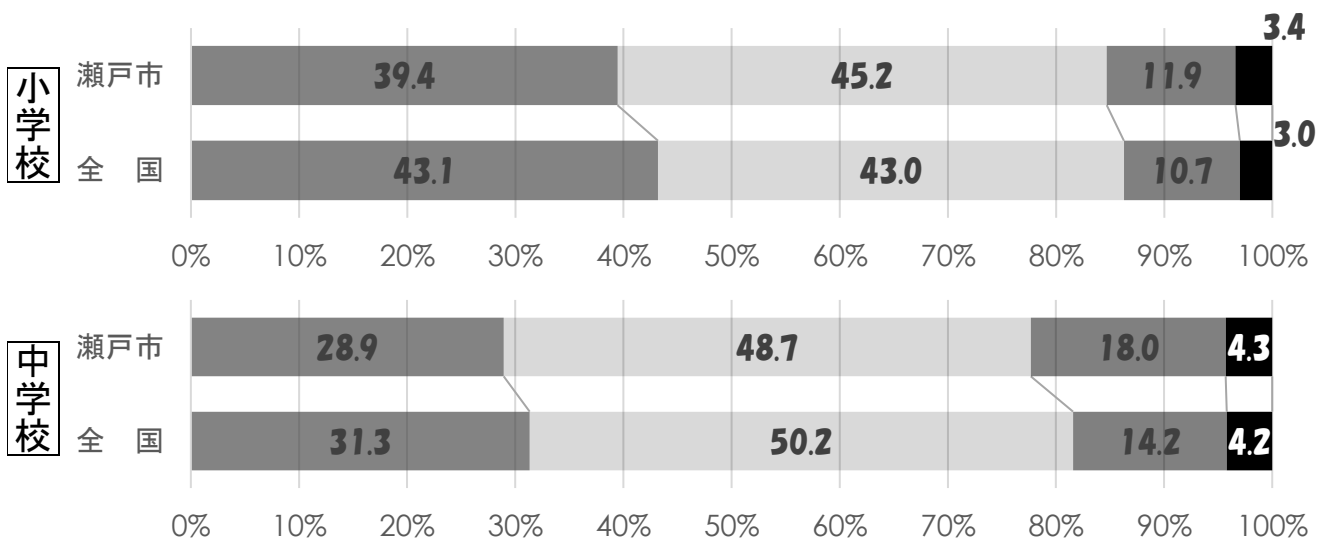
★グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

◇自分には、よいところがあると思いますか



○ 自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合は、全国平均より高くなった。

◇先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

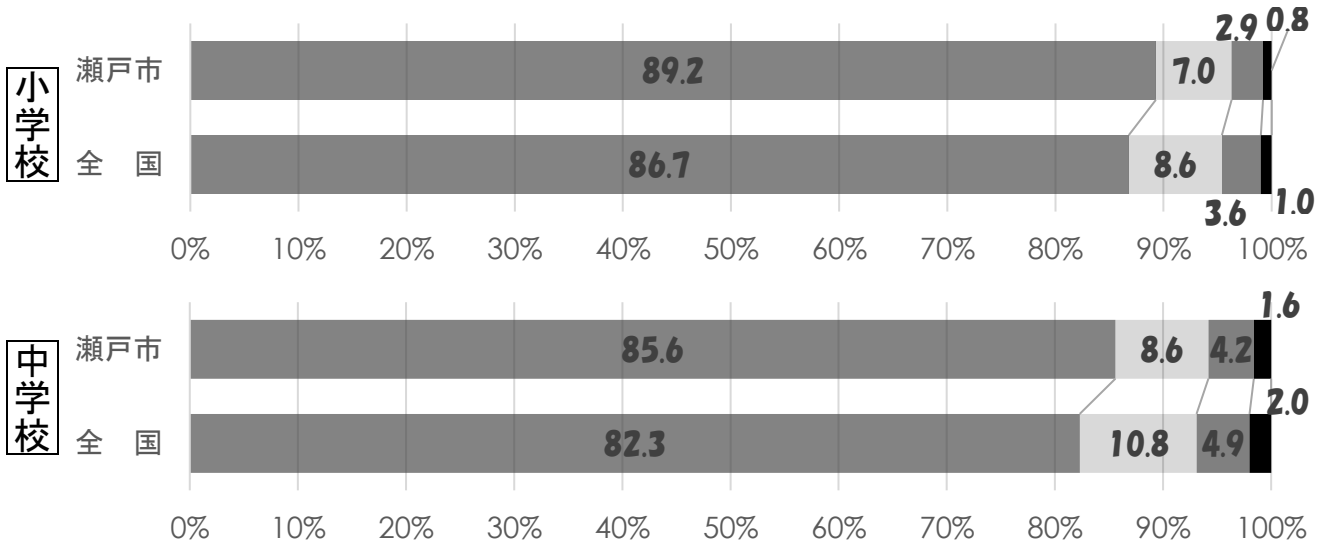


○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合は、30年度と比べ高くなっているものの、全国平均との差は縮まっているが全国平均よりまだ低い。

基本的生活習慣

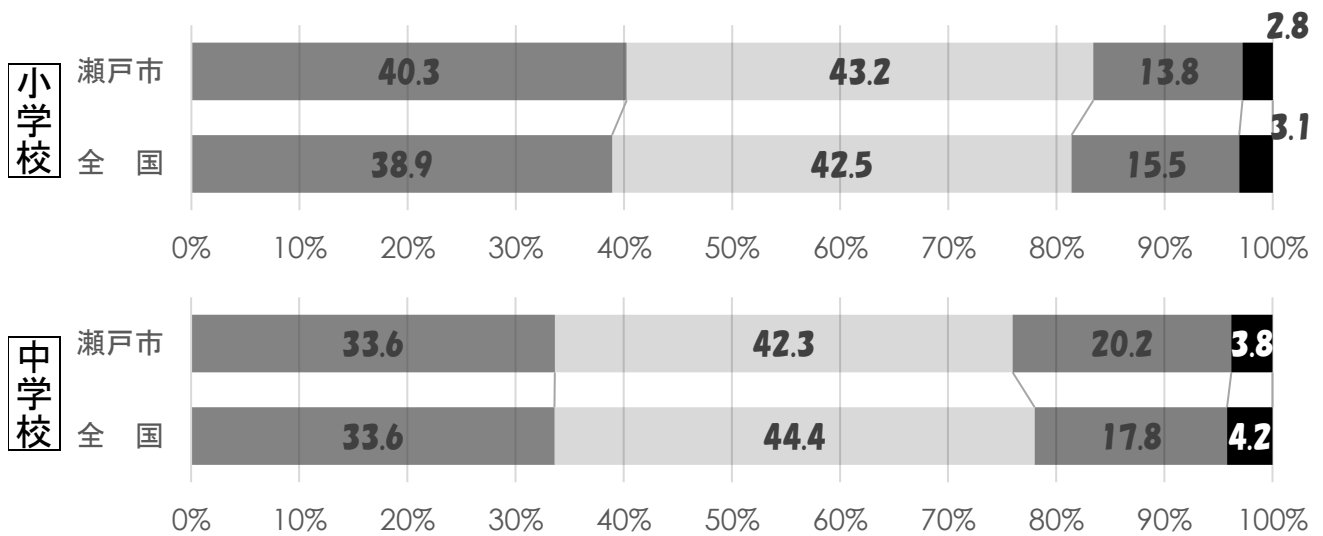
★グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

◇朝食を毎日食べていますか



○ 朝食を毎日食べていると思う児童生徒の割合は、30年度に引き続き全国平均より高くなっている。

◇毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

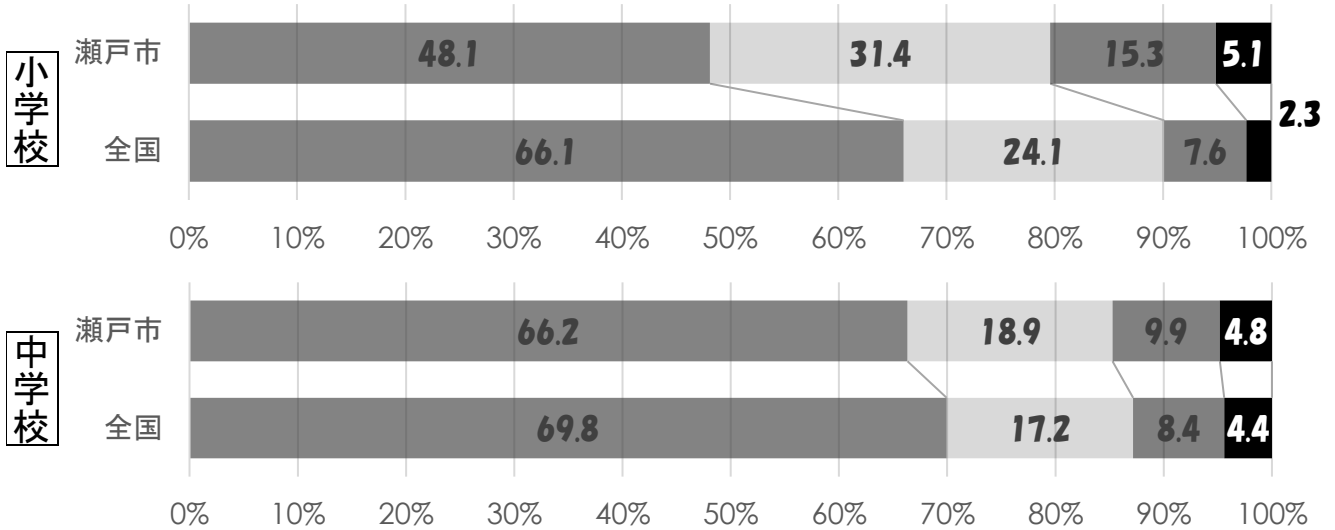


○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていると思う児童生徒の割合は、30年度と比べ高くなり、全国平均と変わらなくなってきた。

学習習慣

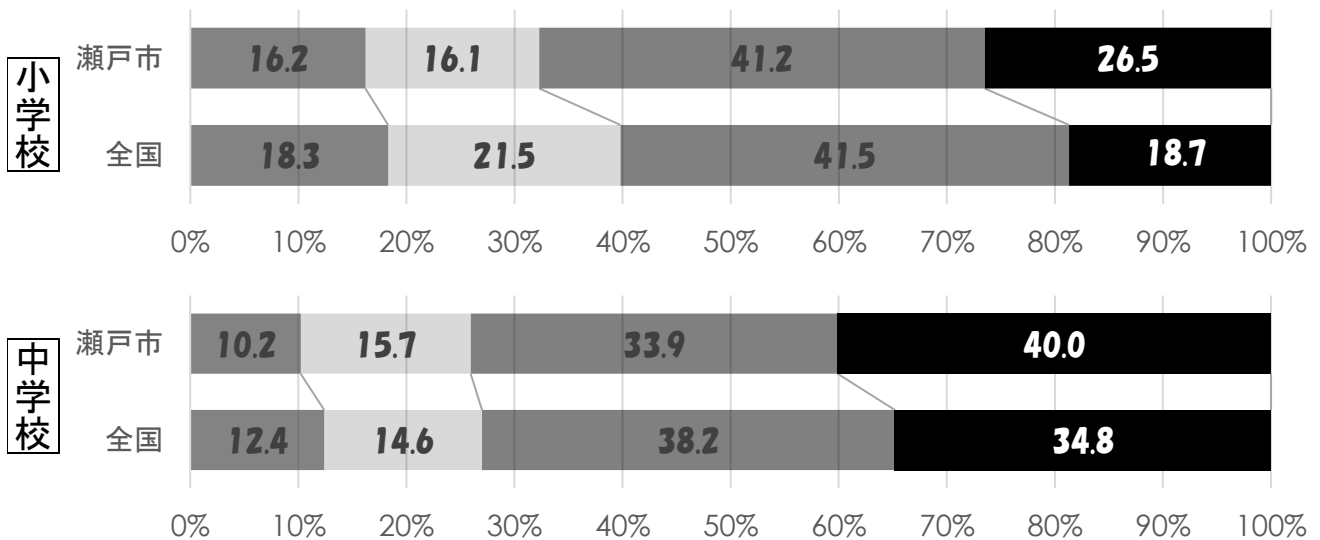
★グラフは、左から「1時間以上」「30分以上1時間未満」「30分未満」「全くしていない」を示しています。

◇学校以外で、平日1日当たりの勉強時間は？



○ 平日1日当たりの学校以外の勉強時間は、「全く勉強していない」が30年度より減っている。しかし、昨年度同様、「1時間以上勉強している」は全国より低い。

◇授業以外で、平日1日当たりの読書時間は？

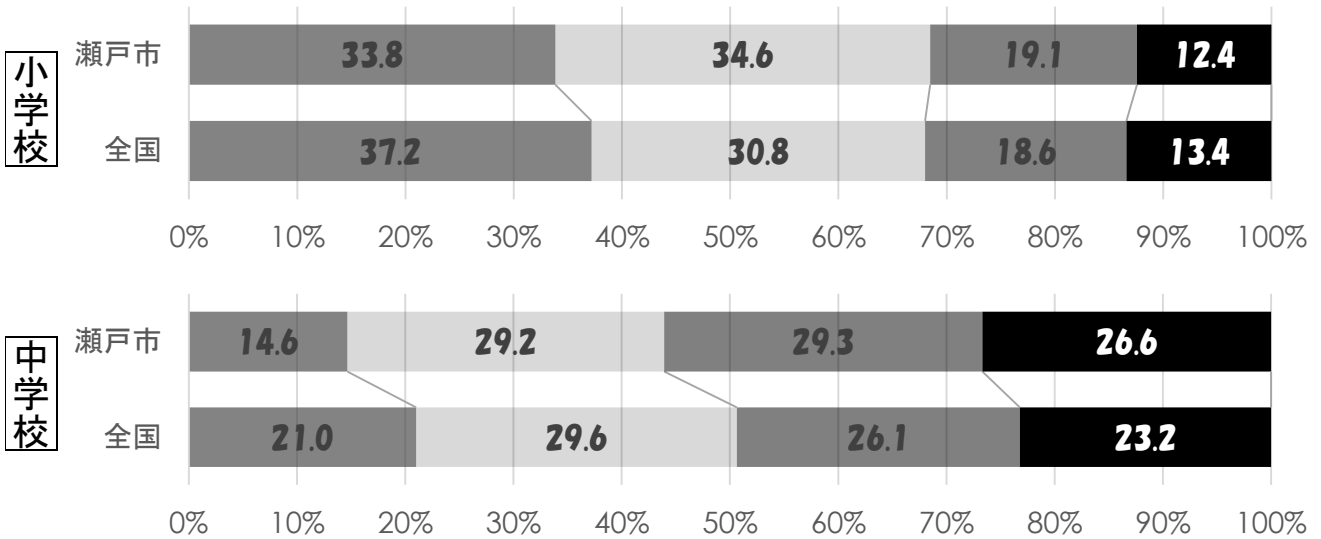


○ 平日1日当たりの授業以外の読書時間は、「全く読書していない」が30年度より増えている。また、「1時間以上読書している」児童生徒の割合が減り、全国より低くなった。

地域や社会との関わり

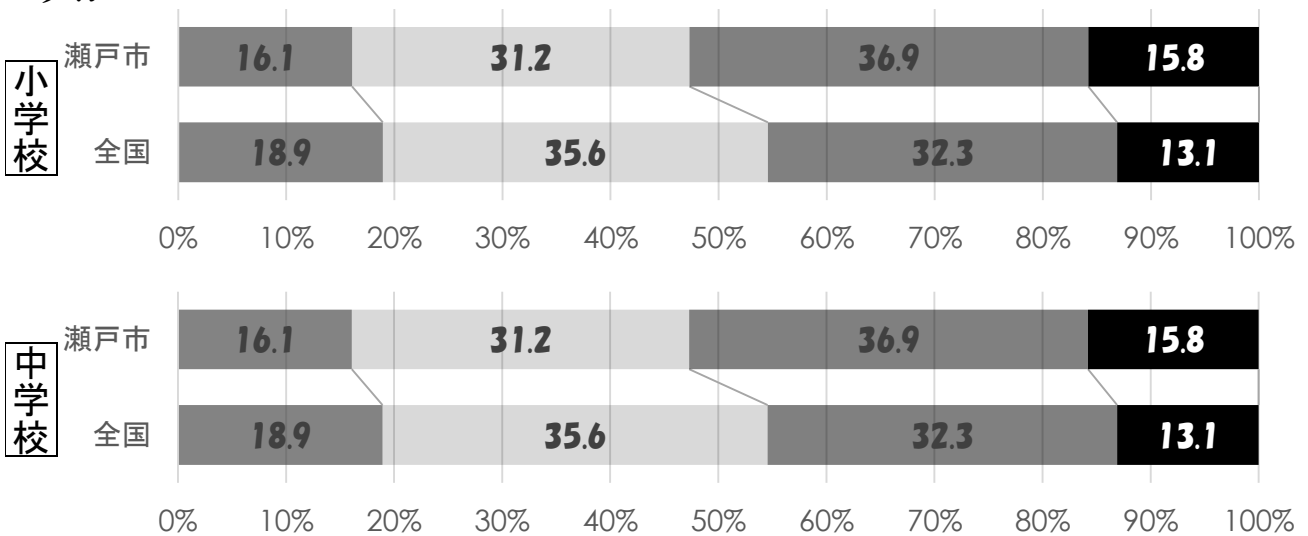
★グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

◇今住んでいる地域の行事に参加していますか



○ 今住んでいる地域の行事に参加していると思う児童生徒の割合は、全国平均よりも低くなっている。しかし、30年度より参加していると答えた児童生徒は増えている。

◇地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える児童生徒の割合は、全国平均よりも低くなっている。しかし、30年度より考えるようになっている児童生徒は増えている。